

新規事業に関するお知らせ

2009年8月24日

財団法人日本科学技術振興財団・科学技術館では、各事業協力会社との開発協力に基づき、次世代プラネタリウム「プレアデスシステム」の「設計・製作」及び「販売」事業を開始することとなりました。

記

1. 新規事業目的

近年世界のプラネタリウムは大きく変化してきています。従来のプラネタリウムにおける恒星の投影数は、1998年に大平貴之氏が開発したメガスターを皮切りに数万個から最大数千万個へ増大しつつあります。デジタル投影技術の導入により、より多くの天文現象の高度なシミュレーションや、地球から宇宙の果てまでを時空を超えて移動しながら最先端の天文学や宇宙開発の成果を映像化できるようになりました。さらには、没入感のある多様な全天周映像の上映や、広大なスクリーン空間と映像技術を駆使した多目的ドームシアターとして変化してきています。

このような状況の中、当財団では最新の科学技術や研究成果を一般市民へ普及していくために、昨年8月に次世代の先を行く日本初の常設立体ドームシアター「シンラドーム」を独自開発し、科学技術館にて一般公開を行っております。このシンラドームで培ったデジタルドームの技術をベースに、光学式のプラネタリウムとのハイブリッド化や、番組供給体制など、プラネタリウム館に必要なすべてを包含したプラネタリウムシステム「プレアデスシステム」を開発いたしました。今後当財団では、科学教育普及に向け最新の光学プラネタリウム技術やデジタル技術を駆使した次世代プラネタリウム「プレアデスシステム」を広く一般に向け開発・提供していきます。

2. 「プレアデスシステム」の特長

国産技術にこだわりながら、従来の決まったシステム構成にとらわれず、用途・目的に合わせた柔軟で最適な統合システムをご提供いたします。

- ・ 国産独自開発ならではの、ソフトウェア・ハードウェアの柔軟なカスタマイズ
- ・ 導入館の独自番組制作を支援する、オープンな仕様規格と講習・ワークショップの実施
- ・ 数百万個以上の恒星を投影が可能な光学投影機「メガスター」シリーズ
- ・ 実績と互換性を活かしつつ高度化された「国産デジタルプラネタリウム ステラドームプロ」
- ・ 世界最新鋭、最も美しい宇宙映像を描き出すスペースエンジン「ユニビュー」
- ・ ドーム環境を自在に操り無限の可能性を生み出すプレゼンツール「クアドラトゥーラ」

3. システム開発、保守体制

当財団では東京都千代田区北の丸公園にある科学技術館を設置運営しており、同館には年間約60万人のお客様に来館頂いております。この科学技術館には最新鋭の立体ドームシアター「シンラドーム」が設置されており、事業協力会社との継続的な開発と、実際の運営を通してのシステム運用ノウハウの蓄積が日夜行われ、システムの機能向上と安定性にフィードバックされています。これらの成果をもとに、本「プレアデスシステム」の保守・技術サポートは各協力会社と連携しつつ、当財団サービス技術グループが責任を持って実施いたします。

4. 事業協力企業

株式会社 アストロアーツ、	有限会社 大平技研、
株式会社 オリハルコンテクノロジーズ、	株式会社 東京現像所、
有限会社 天窓工房、	株式会社 リブラ

5. お問い合わせ先

財団法人 日本科学技術振興財団 科学技術館事業部 特機システム開発グループ
電 話 03-3212-2670 ファクス 03-3212-8443
<http://www2.jsf.or.jp/> E-Mail : pleiades@jsf.or.jp